



3年前に、岐阜県議会議員として、美濃加茂選挙区の皆様から県政へ背中を押していただきましたマッキーこと、「牧田ひでのり」です。

この紙面による7回目 (Vol.7) の県政報告をさせていただきます。

毎回申し上げておりますが、私は、未来を生きる各世代に向けて、現在よりも暮らしやすい環境を整備すること、そのために経済・産業振興・防災・社会福祉・教育などの拡充に向けた活動に、積極的に取り組んでまいります。

そこで、私が生まれ育った「ふるさとに感謝 美濃加茂へ」という気持ちを秘めて、以下の「マッキーからの美濃加茂へ3つの恩返し」に取り組んでおります。

岐阜県議会議員

牧田ひでのり

マッキーからの
美濃加茂へ

3つの恩返し

恩返し

1

地域の
「元気」づくり

地域経済の
活性化と
地場産業の
振興と育成

恩返し

2

地域の
「安全」づくり

大規模に備えた
事前防災対策の
推進と災害に強
いインフラ整備

恩返し

3

地域の
「安心」づくり

安心を支える地域
づくりのため医療、
福祉、介護、子育て
支援の充実



そして、マッキーは、最近の県議会一般質問で、これらの視点から
何を質問したのか？ なにを主張したのか？

令和8年3月一般質問

恩返し

3

地域の「安心」づくりの観点から

一般質問効果▶▶ 着実に実績を重ねています！

「心のサポーター制度」が
スタートします！

令和8年3月議会において私は、
「メンタルヘルスに不調を
抱える方への早期支援」
について質問しました。



近年、うつ病と診断される前の段階である「半うつ」とも呼ばれる状態に悩む方が増えており、深刻化する前の早期支援の必要性を訴えました。

これに対し健康福祉部長からは、

- ・身近な相談体制の充実
- ・心の不調の早期発見
- ・早期支援体制の強化

が重要であるとの認識が示されました。



答弁のポイント

「心のサポーター」養成を推進

県は令和8年度から、「心のサポーター養成事業」を本格的に開始します。

心のサポーターは、

- ・身近な人の心の不調に気付く
- ・話を傾聴する
- ・必要な相談機関へつなぐ

ことを目的とした地域の支援者です。

県は2033年度末までに、**15,000人の養成**を目標としており、今年6月から養成研修が始まりました。



■ マッキーの評価

私は、「困ってから支援する社会」から「困る前に支える社会」への転換が必要であると考えています。

今回の制度創設は、その第一歩です。

身体の健康だけではなく、**心の健康も守る岐阜県**を目指し、引き続き取り組んでまいります。